

第2回 多摩市自治推進委員会 要点記録

日 時：令和7年1月24日（金） 19：00～21：00

場 所：永山公民館 視聴覚室

出席委員：白鳥光洋委員長、長野基副委員長、

中島ゆき委員、牛腸哲史委員、山田寛子委員、和田あずみ委員

オブザーバー：一般社団法人コミュニティネットワーク協会 渥美京子理事長、合同会社 MichiLab 高野義裕
代表、中央大学国際経営学部中村大輔教授

事務局：田島協創推進室長、西村担当主査、村上、永田

傍聴者：2名

議事次第：配付資料「第2回 多摩市自治推進委員会 議事次第」のとおり

1 開会

委員長 第2回第九期多摩市自治推進委員会を開催する。

まず、事務局から資料の確認をお願いしたい。

事務局より、配布資料の確認を行った

委員長 次に、第2回委員会の要点録の原案について、修正はないか。

修正はないようなので、これで確定とする。

1 協創の実現に向けた取組み・検討状況報告

委員長 まずは、次第1「協創の実現に向けた取組み・検討状況報告」です。現在の取組み状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局より、資料9、参考資料1に基づき報告

事務局からの報告は終わりました。続けて事業に関わっているオブザーバーからそれぞれのエリアでの活動の報告についてご発言をお願いします。

オブザーバー 資料9、8ページに書いてあるように、これまで活動を進めてきた方と新たに活動に参加する方は別の層として、二層でエリアミーティングを行っている。寺小屋構想委員会としては10数名集まっている。各自、知り合いの方を連れてきて、賑わいのある会になっている。毎月第三土曜日等のように定期的に行うことで、通りがかりの方が参加してもらえそうなねらいがある。これまでのミニプロジェクトのグループを横のつながりにというのが寺小屋の取組みの特徴。音楽に通じた方からの提案や、防災の関係ではかまどベンチを使ってみるという提案も出てきている。手続きが必要な部分については協創スタッフと調整しながら進めている。エコプラザの資源を使わせてもらうことで焚火を行う等の企画も出てきている。地域課題の解決になるかもしれない。塾に代わるものであったり、伝統の担い手を増やす場であったり、子育てのリフレッシュの場にもなりうるのではないかという話も出ている。最大の特徴は、地域の方々が準備をして、開催しているということ。地域の既存の団体や組織とも連携しながら、それぞれの分野で担い手不足の問題も多い中で、円滑に進めていけるようにしたいと思っている。

- オブザーバー 中間支援として、ミチラボと若者会議のメンバーとともにイベントのサポートやエリアミーティングの開催、地域の方が集まるきっかけとなるイベントの開催を行っている。諏訪では今年くらいから、過去のエリアミーティングの参加者が、イベントと一緒に進める仲間になってきている。現役世代の市民が地域活動に参加できるよう、意識して工夫しながら取組みを進めている。
- オブザーバー 愛宕地区は高齢化が進んでいる。63%の高齢化率である3丁目のそばの団地（銀行の跡地）に拠点を置いて活動している。今年度は、国交省が行う住民主体の団地再生活動調査事業の対象ともなっている。その事業とも絡めながら誰でもカフェを中心として、やりたいこと、できることをマッチングする取組みを進めている。要支援と要介護の方を講師として、おりがみや塗り絵教室を行ったり、そこに参加した方からの音楽教室をやってみようという声を協創スタッフが拾ってイベントにつなげたりと多世代が交流できる取組みを進めている。
- 委員 自分は先ほど言っていたような現役世代に当てはまる。子育てしながらフルタイムで働いている。現役世代に向けて、どのような取組みが効果的かイマイチだったか等の肌感覚があれば教えてほしい。
- オブザーバー 成功法則は見つかってはいないが、ランタンフェスティバルのような既存のイベントの一部というかたちなら企画側でも参加しやすい。自身で広報をする必要がなく、手続きが必要なものはほかの人が支えながらやれるものだと、ハードルが低くできている事例もある。
- 委員長 オブザーバーもアイデアを知りたいと理解した。
- 委員 自分は大学研究所の方で、連携自治体から政策評価の調査をしてほしいという話をもらい、移住UIターン施策の中の間支援団体の調査も行っている。気になるのは、中間支援組織の団体としてどのように活動を運営、継続しているのか。それぞれ聞きたい。
- オブザーバー 中央大学と多摩市で包括連携協定を結んでいて、2019年から共同研究というかたちで行っている。研究というフレームで地域住民の実態調査も行ってきた。地域活動に関心はあるものの、何かしているわけではないという方が多く、一方で自治会の活動等では人手不足が嘆かれている。地域の活動へのクッションの役割としてできたのがエリアミーティング。
- 委員 それぞれ旗振り役は？
- オブザーバー エリアミーティングは協創推進室と中村ゼミ。ミニプロジェクトは地域の方。
- 委員 ミニプロジェクトは組織になっているわけではなく、個人の小さな知り合い同士の集まりということか。町会や自治会単位ではないとなると珍しい。ミチラボはどうか？
- オブザーバー 合同会社ではあるが、市民団体ととらえてもらえるとわかりやすい。多摩市の若者会議の事業として集まったメンバーでミチラボを立ち上げた。ミチラボの社員は会社員や学生で市民活動としてやっている。中間支援をミチラボとして受けている。若者会議のメンバーをつなぐ等、コーディネートのことをしている。
- 委員 団体の対価や収益の主なものは？
- オブザーバー 市からの委託料とコミュニティカフェの収益。人件費は社員に出していないので、収益は運営維持費にあてている。各自のやりたいことを市民活動として行っている。
- 委員 スタッフが必要な時は、想いや気持ちのある人に動いてもらっている？

オブザーバー	なるべくその人の自主的な想いで動いてもらえるようにしている。
オブザーバー	一般社団法人コミュニティネットワーク協会としての社員は13名。コミュニティプレイスあたごはJ K K東京が大家である団地の銀行跡地で実施した共生型の交流拠点事業として開始。プロポーザルで選んでもらった。国交省の補助事業にエントリーしてスタート。補助金でも運営費は出ないので、テナントに入ってもらっての家賃収入や、自主事業としてデイサービスの福祉事業、コンサル事業、休眠預金の分配団体としての事業で収入を得ることで、活動している。
委員	三者三様でわかりやすかった。ヒートマップに10エリアの区分けが入った地図をもらえるとわかりやすい。山王下1丁目はどのような地域か？労働力人口が集中している。
オブザーバー	多摩センター駅に近く、民間マンションが多い。
委員	よくわかった。
委員	多摩子ども劇場は多摩中央公園で月1回第一日曜日の午前中2時間、誰でも来て遊べる場として、独楽の遊びやプロを呼んだイベントなどの場を提供している。熱い思いを持った人が、焼きマシュマロや焚火のイベントをやっており、開催のための手続き等もボランティアで成り立っている。何とか継続できるのが月1回。お昼ごろになると人も増え、盛り上がりきっても、継続できる時間で制限して終わらせている。得意をもった人が来てくれて徐々に関係性がつくれると、点でやっていることがつながってネットワークが広がって楽しくなると思う。活動があちこちにあることがわかった。ここから広げられると良い。
委員	現役世代に参加してもらおうということに関しては、そのかたまりがPTAだと思う。青陵中のエリアでこのような取組みをやっていることはほぼ知らなかった。周知が必要。現役世代に地域のことをどのように知って、関わってもらおうかが課題。自治会やPTAにとお願いされると拒絶する人も多いが、自分がやりたいことや得意、普段の活動の延長で地域に入っていけると楽しみながらやれる。町田でやっている自身の活動では、あえて、団体をつくらない。規約や規則もつくらない。そこに集まってくるのは4～50代。人が活動のテーマに集まってくるイメージ。口コミで地道につながっていくのが効果的。
委員	小学校等はPTAでつながりがあると思うが、保育園児の母である自分はそのようなつながりがないと実感した。ママ友サークルもなく、たまにお母さんたちと空いた隙間の時間でお酒を飲みに行く程度。みんなが地域でどのようにつながっているかわからない。声かけが無ければ広がらない。切実な課題と感じている人もいる。
委員	中P連では座談会のようなものを行っている。これまでは委員研修会のようなものを行っていたが、やってよかった楽しかったと思えるものにしたいと思って座談会形式にした。みんなでお茶しながら話せる場で面白い話も出てくる。そのような取組みが広がっていくと良い。
委員長	協創サポーターは良い制度だと思う。ボランティアのようなかたちでやっているのか、公務として調整しながらできているのか？
事務局	研修制度として行っていこうと思っている。若手職員向けのスキルアップを目的にしている。地域との関わりが少ない管理部門や税務部門の部署にいる職員も多い。3年前のデータになるが、市内在住職員は3割程度と少ない。そのような職員が地域の人と一緒に活動を行うことをとおして、市民感覚や職員に必要なスキルを身に付けることがねらい。

2 諮問事項に関する意見交換

委員長 続きまして、次第2「諮問事項に関する意見交換」です。事務局から、法制度や参考となる事例紹介など情報提供をお願いします。

事務局より、資料10に基づき報告

事務局からの報告は終わりました。検討すべき事項やスケジュール、必要な情報などについて、ご意見・ご質問等があればお願いします。

委員長 参考事例を出してもらった。聖蹟桜ヶ丘では企業も関わりながらやっているよう。今後どのような方向で進めていくかをざっくばらんに話していければ。

委員 住民を中心にゆるやかなつながりだと資料に書いてあるが、事例が企業中心かと思う。管理の範囲をどこまでにするのかにもよると思うが、現役世代が動けないという現状がある中で、住民と管理団体の連携の範囲のイメージがつきにくい。現役世代が入りやすいコミュニティを目指したいものかと思うが。

委員 資料10、3ページの多活動マッチング型のほうが入りやすいと思う。協議会型はすでに活動している人の集まりで、そこに現役世代がポンと入っていくのは難しい。まずは多活動マッチング型の動きを増やしていったら、コアとなるメンバーや事業がしっかりした結果、協議会が適してくるようになれば移行していく、というかたちが多摩市の現実的なやり方ではないか。

副委員長 団体のなかには目的が達成されたら解散できるものとそうでないものがある。地域運営を維持しなければいけないのかそうでないのか。今回目指すものというのがどう言うものか。達成したら解散して良いのか。武蔵野市のコミュニティ条例では、コミュニティ協議会は解散しないものになっていて、継続させていくことに意味があるという想定での条例にしている。

委員長 継続していくのかどうかという論点の一つとしてたまわった。

オブザーバー 既存の活動団体が一定の割合を占めていて、解決できない部分に現役世代が入っていく。企業も営利の見込みがなければ切られてしまうので、一体とはいかないかもしれないが、何かしらのプロセスで入ってもらうことはできるかもしれない。企業と現役世代は直接つながりにくいという部分を煮詰めていけると良いのでは。現役世代は地域活動をするうえで自分たちの生活に子育て等の課題がある。金銭を媒介にしてサービスをうけるが、つながりで支えてもらうことができるという面もあると良いのでは。金銭的対価を伴わず、信頼関係の中でゆるやかにつながり対価を得られるもの。

委員長 ゆるやかなつながりがセーフティーネットになっていくということだと思う

委員 課題の大きさが様々だと思う。多活動マッチング型は活動をスタートさせるためのベースとなるもの。防災や孤独死など、課題によってはゆるやかではなく喫緊で動いていけないといけないものもある。地区なのか、テーマなのか多層に考えていくものもある。現役世代が入れないのは当たり前ということで構成されるものもあると思う。

オブザーバー たしかにゆるやかなつながりで良いものと喫緊の課題は分けて考えないといけない。人手不足の中でも近隣の方同士でできること、専任の方でないとできないことあると思う。層を作っていくことが大事。

委員 セーフティーネットとしては地区社協や包括があると思うが、多摩市ではどうなっているのか。

事務局 多摩市の社協は地区ごとではないが、重層的支援体制整備事業をやっている。断らない相談体制、制度のはざまの相談、地域づくりの3つを柱にしている。3つ目が近い位置付け。困っている人も地域内では違う顔を見せることもある。そこをどう地域のつながりの中で出て来てもらえるか。

委員 町田では地区ごとの社協がある。セーフティーネットはそちらにまかせるなど重層的なやり方ができると良いのではないか。

委員 ゆるやかなつながりの中で、社協がつながる接点をもつということかと思う。

委員長 相互補完できるようなイメージか。

副委員長 指定にあたって審査や評価を受けていくことになる。活動への支援・調整の中で地域の団体として指定管理者の審査プロセスに参加したいという話が出てきたらどうなるのか。指定管理の話とのすみわけが複雑になる。保守管理工事を担う業者への発注業務等もどのような業者を選ぶのか。

委員長 課題としてはいろいろある。複合施設をケーススタディとして、ネガティブチェックも含めて議論を深めていくということによろしいか。

事務局 事務局の中でも整理しきれていない部分がある。指定地域共同活動団体と指定管理団体と都市再生推進法人等の団体との違いも明確にしながら、検討進めていってもらえるような資料を今後提示したい。

委員長 資料10のスケジュールをベースにしながら引き続き議論していく。

3 その他

委員長 続いて、その他に移る。事務局より何かあればお願いしたい。

事務局 お配りいただいたチラシについて何かあればお願いします。

委員 多摩子ども劇場が今年40周年を迎える。ポコポコフェスタは毎年、地域の子供たちに好きなものを自由に選んでもらう機会としてやっている。覗いてみてほしい。

事務局 協創フォーラムにもぜひご参加いただきたい。次回の会議は、令和7年3月21日(金)午後6時から、本会場で行う。

副委員長 少し遅くなるかもしれない。卒業式のため。

事務局 可能であれば、参加いただける方は、懇親会を開催したいと思っている。

委員長 協創フォーラムでは、中間支援団体からはどのような紹介をするのか？

事務局 10分程度で大まかな活動内容の紹介をしてもらう予定。

委員長 それでは、第2回の多摩市自治推進委員会をこれで閉会する。

□ 閉会